



異次元のサクソフォン・カルテット

2005年大阪国際室内楽コンクール第1位

ほか世界各地のコンクールで8度もの優勝を重ねる

ハバネラ サクソフォン・カルテット

クリスチャン・ヴィルトゥ (ソプラノ)
Christian Wirth, Soprano Saxophone

ファブリツィオ・マンクーゾ (テナー)
Fabrizio Mancuso, Tenor Saxophone

スィルヴァン・マレズユー (アルト)
Sylvain Malézieux, Alto Saxophone

ジル・トレソス (バリトン)
Gilles Tressos, Baritone Saxophone

2005年、難関である管楽器アンサンブル部門を擁する大阪国際室内楽コンクール(第2部門/管楽器アンサンブル)で優勝。ほかボルドー、デュッセルドルフなどで開催された国際コンクールで次々と優勝するなど、計8つの国際コンクールで優勝歴を誇る、世界的サクソフォン・カルテット。1993年、既存のサクソフォン四重奏のイメージと音色を刷新しようというプロジェクトのもと、パリ国立高等音楽院の名教師

クロード・ドゥラング教授の門下生たちによって結成された。メンバーは全員、同音楽院室内楽科を一等賞にて卒業している。結成以来、芸術的な出会いの赴くままに道を歩んできた彼らは、新曲の初演、特に現代音楽において、G.リゲティ、S.ライヒ、棚田文紀、F.レヴィー、A.マルケアス、P.ルルーなど数々の作曲家たちの新作初演を行った。また、セルマーのサクソフォンとマウスピースは、彼らの演奏力の高さに貢献している。

ゲスト ブルーオーロラ サクソフォン・カルテット



平野公崇 (ソプラノ) Masataka Hirano 田中拓也 (アルト) Takuya Tanaka
西本 淳 (テナー) Jun Nishimoto 本堂 誠 (バリトン) Makoto Hondo

“サクソ界の革命児”平野公崇が、同じ音楽的志向を分かち合える仲間であり、ソロ・トップ・プレイヤーとしてもそれぞれ活躍する奏者と共に結成したサクソ四重奏団。グループ名は武満徹の作品『一柳慧のためのブルー・オーロラ』に由来する。2011年、デビューCD「ファースト・ブルー」を、翌年にはバッハ作品を集めたCD第2弾「Blue BACH」を、最新CD「和楽」は2015年9月にリリースされている。結成以来各地で公演を行い、クラシック作品はもとより、ジャズ・テイスト、即興等を取り入れた多彩なプログラムで会場を沸かせ、新たなファンを獲得している。2015年、16年、フランスの「ハバネラサクソフォン・カルテット」の約10年ぶりの来日時には、鮮烈なコラボレーション・プロジェクトを実現させた。2016年9月より、バリトンに新メンバー本堂誠を迎えている。

©ノザワヒロミチ (CAPSULEOFFICE)

くらしの中にクラシック



名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター
営業時間:10:00~16:00
※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業
年中無休(年末年始、施設メンテナンス日を除く)

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

宗次フレンズ 会員募集

会員登録していただいたフレンズ会員様は
一般発売より先行してチケットをご購入頂けます

会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール (052-265-1715) までお問合せ下さい。

■交通アクセス
地下鉄栄駅 ⑫ 番出口より東へ徒歩4分

